

2024年6月21日  
株式会社日本政策金融公庫  
総合研究所

## 日本公庫総研レポート No.2024-2

## 『省力化投資で人手不足に対応する中小製造業』を発行

日本政策金融公庫総合研究所は日本公庫総研レポート No. 2024-2『省力化投資で人手不足に対応する中小製造業』を発行しました。

人口減少が確実視されるなか、中小製造業にとって人手不足への対応が重要な経営課題になりつつあります。近年は、ロボットや人工知能（AI）などを活用した省力化投資で、人手不足に対応する中小企業が登場しています。

そこで本レポートでは、省力化投資を進めることで人手不足を根本から解決しようとする中小製造業4社の事例を取り上げ、取り組みの成果や省力化投資のポイントをまとめました。

## 【本レポートの概要】

## 1 省力化投資の成果

事例企業は、省力化投資によって残業時間の短縮や納期の短縮などにつながっています。また、付加価値の高い製品の開発や従業員のリスクリング、新たなビジネスへの挑戦など、企業の成長に向けた取り組みに人的資源を投入することができています。

## 2 省力化投資のポイント

省力化投資を進めるには、まず「現場をよく観察する」ことが大切です。次に、社内外からさまざまな知見を得るために「技術のキャッチアップを怠らない」こと、そして、従業員の理解と納得を得るために「目的を社内全体で共有する」ことが大切です。さらには、「省力化投資は人的資本投資に向けた布石」であることを認識し、従業員に働きやすい環境や新たな活躍の機会を提供することで、企業の成長につながります。

## 【事例企業の概要】

企業名	事業内容	主な取り組み内容
株式会社行田製作所 (群馬県高崎市)	板金・プレス・組み立て加工	プレス加工の仕上げ工程に自社開発した自動研磨機械を導入し、全工程の7割の自動化を実現。
株式会社土屋合成 (群馬県富岡市)	プラスチック射出成形加工	単純作業を行う機械と60台の射出成形機を一括管理するシステムを導入し、ほぼ無人で稼働する工場を実現。
タヤマスタジオ株式会社 (岩手県盛岡市)	南部鉄器の製造・販売	ベテラン職人の指導をサポートするAIを導入し、生産量の確保と若手の育成を両立する態勢を実現。
株式会社艶金 (岐阜県大垣市)	染色整理加工、布地製品の製造・販売	技能承継が懸念される色味検査の工程にAIを活用した検査システムを導入し、ノウハウの共有を実現。

※ 本レポートは、[こちら](#)でご覧になれます。

バックナンバーは[こちら](#)です。

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第二グループ (担当: 田中・藤田)

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー TEL 03-3270-1269